

令和5年度 厚木市障害者協議会 第1回 実務者会議

日 時	令和5年6月15日(木) 午後2時から午後4時30分まで
場 所	アミューあつぎ amy studio スタジオ
出席者	<p> 厚愛訪問看護ステーション連絡会 厚木市身体障害者福祉協会 厚木市手をつなぐ育成会 厚木市自閉症児・者親の会 精神保健福祉促進会フレッシュ厚木 厚木地区知的障害施設連絡会 厚木市・愛川町・清川村地域精神保健福祉団体連絡会 厚木市居宅介護事業所連絡会 神奈川県総合リハビリテーション事業団七沢自立支援ホーム 厚木市民生委員児童委員協議会 厚木市児童発達支援センター ひよこ園 相談支援事業所連絡会 厚木市地域包括支援センター 厚木市教育委員会 特別支援学校 厚木公共職業安定所 厚木児童相談所 県央地域就労援助センター障害者就業・生活支援センターぼむ 厚木保健福祉事務所 厚木市社会福祉協議会 厚木市地域包括ケア推進課 厚木市障がい福祉課 事務局 厚木市障がい福祉課 厚木市障がい者基幹相談支援センターゆいはあと </p>

1 開会

・挨拶

事務局 厚木市障がい者基幹相談支援センター センター長
厚木市障がい福祉課 課長

・各委員自己紹介

・議事進行

議長 相談支援事業所連絡会
副議長 厚木市社会福祉協議会

2 議題

(1) 日中サービス支援型共同生活援助の開設説明について

一般社団法人ワイズ・インフィニティ・エイト

～質疑応答

厚木市自閉症児・者親の会

- ・3点質問があり、1点目として利用料は月どのくらい必要になるのかという事。2点目としては資料に「受け入れ対象者 ③既存のGH ソシオ利用者の移行先として」とあるが、現段階で予定されている方がいるのか・という事。3点目は、既に募集を開始しているのか・見学などはいつ頃出来るのか・という事です。

一般社団法人ワイズ・インフィニティ・エイト

- ・1点目については、家賃55000円から給付や補助を受ける事で自己負担は35000円。水道光熱費については現状月20000円で設定しているがこのところの高騰を受けて再検討を行っている。食費は朝食300円・夕食600円・希望者のみ昼食を実費で提供し、日用品費は月5000円という内容。フリーWi-Fiは設置しており利用料の中に含まれている。最低生活費といわれる13～14万円という金額から費用を引くと月に3万円程度残る計算になる。2点目の現在の入居者の移行の見込みについては、現時点で決まっていない。一時期希望をされた方はいたが現在は取り下げられており、現在は一人もいない状況。3点目の募集期間・見学の時期については1月の開所を目指している為、逆算すると12月頃から募集・見学を開始し、10月頃に関係機関に向けた見学や内覧会を実施する予定にしている。

厚木市手をつなぐ育成会

- ・受け入れ対象者の区分に関して4～6となっているが、区分3は対象にならないのか。また長期目標としての入所に向けた複数回の体験的利用や緊急時等のレスパイトについて、対応する部屋がどの位あるのか。

一般社団法人ワイズ・インフィニティ・エイト

- ・対象者の区分について規定としては3以上となっているが入所の判定会においては重度の方が優先的に利用出来る様調整している為、区分3の方には介護包括型を提案させて頂いてい

るのが現状。体験的利用やレスパイトについては、居室が空いていなければ対応が困難であり入所を希望する方がいればそちらを優先せざるを得ない。今回のグループホームでは短期入所の居室を2部屋用意している為、緊急時を含め可能な範囲で対応させて頂きたいと考えている。

事務局

- ・質問というよりはお願いになるが、昨今急激にグループホームが増えてきた事で、支援の質が問われている状況になっている。障がい福祉課にもグループホームの支援に対する苦情が増えており特に日中サービス支援型については、施設内で過ごす方は入所施設の様になり一日中過ごす事になる為、尚更支援の質が問われる事になる。スタッフの充実等書類からでは見えない部分も有るので、厚木市からも支援の質を高めて頂く様お願いをさせて頂きたい。

一般社団法人ワイズ・インフィニティ・エイト

- ・日中の過ごし方については大きな課題となっており、切に受け止め職員の教育に尽力していきたい。

(2) 厚木市障害者協議会規程の一部改正について

事務局

(3) 厚木市障害福祉サービス利用・提供実態調査結果報告書について

事務局

～質疑応答

精神保健福祉促進会フレッシュ厚木

- ・厚木市で精神障害者手帳を取得されている方が何名いて福祉サービスを利用している方が何名いるのか教えて頂きたい。毎年実務者会議に参加して福祉計画を作っているが、精神障がい者に関しては福祉サービスを利用する事すら出来ない方がすごく多い。計画の中身を見ている精神障がい者の使えるサービスはほとんど無く、利用できるのも本当に状態の良い方だけ。ほとんどの精神障がい者は家にひきこもったままサービスを利用する事自体が出来ず、置いてけぼりになっている様な印象をずっと持っている。アンケートの内容は福祉サービスを利用している方が対象になっており、そこがおかしいと家族会では言い続けて来ており、あらためて「全体」を見て頂きたいと考えている。精神障がい者には就労支援が必要という結果についても、GHや作業所を利用出来ている方々の声だとは思いますが、こちらの実感としてそれは精神障がい者の実態を表していないと思っている。印象としては身体と知的の障がい者の為の福祉サービスに、精神を無理やりくっつけているという感じがしており、その点について今後どのようにされるのかを、家族会の代表として質問させて頂きたい。

事務局

- ・調査結果からの数値では、サービスを利用している精神障がい者が436名で手帳を持っている方が2226名、自立支援を利用している方が4007名となっている。今回の調査の趣旨は障害福祉サービスのニーズ調査になっている為、現に障害福祉サービスを利用している方を対象に調査を実施した。「全体を見る」事については、令和6年の法

改正で、精神保健に不安や課題を抱えている方の相談体制を行政で構築する事が決まっております、これまで障害福祉サービスの利用につながっていなかった方についての相談体制をいかに整備していくのかという事についても、市としては検討している。

精神保健福祉促進会フレッシュ厚木

- ・サービスから「こぼれた人」のニーズには、いつスポットライトが当たるのか。

事務局

- ・11～12月頃にパブリックコメントの募集をさせて頂く予定がある事と7～8月頃に意見交換会を予定している事をお伝えさせて頂く。外出が困難な方であってもパブリックコメントであれば公民館等の投書箱を活用して頂く様な形で意見募集をさせて頂く事が出来ると考えている。

精神保健福祉促進会フレッシュ厚木

- ・たまたま気付く以外にそういったお知らせが目に入って来る事は無いのだが、通知を家族会には送って頂けないのか。

事務局

- ・家族会に直接・という事は無いが「広報あつぎ」や10月の実務者会議といった場面で周知させて頂く予定になっている。意見交換会については7月下旬を予定している。

精神保健福祉促進会フレッシュ厚木

- ・精神障がい者の親には、高齢でホームページや小さい文字を読めないと言っている方が多い。意見を言えない事で余計に取り上げてもらえないという事実が有る。精神障がい者やその家族からもっと広く意見を求める為の工夫、例えば家族会に手紙を送る・病院やクリニックにポスターで掲示する等の方法は無いのか。

事務局

- ・一般の市民の方を含めた広いご意見を伺うという事がパブリックコメントの趣旨であり特別に、特定の団体にご意見を頂く事が「公平に」意見を求めた事になるのか・パブリックコメントの性質に照らし合わせた時に公平性が保たれるのか・について確認し、公平性が保たれるという事であれば各団体に事前に送付する事は可能だと考えている。

事務局

- ・10月の実務者会議でパブリックコメントの周知を行い、意見交換会については7月1日の広報あつぎに掲載される為そちらで内容をご確認ください。

(4) 厚木市障がい者福祉計画（第7期）の策定方針について

事務局

事務局

- ・今回の原案について皆様からのご意見を伺う場として6月29日と7月20日の二日間実務者会議を設定しており、会議の場で忌憚ないご意見を頂ける様お願いします。

厚木市自閉症児・者親の会

- ・施策の方向が12項目とそれぞれの理想が達成された姿は有るのだが、理想を叶えるための具体的な手段・施策については市として持っているのか。それらについては次回の実務者会議で具体的に議論されるという理解でよいのか。

事務局

- ・具体的な施策について議論させて頂く場と考えている。

(5) 令和5年度神奈川県主任相談支援専門員養成研修受講者推薦について

事務局

(6) 令和5年度におけるプロジェクトについて

- | | |
|--|-----|
| ① 相談支援プロジェクト | 事務局 |
| ② 一貫した療育・子育て支援プロジェクト | 事務局 |
| ③ 居住支援プロジェクト | 事務局 |
| ④ 防災プロジェクト | 事務局 |
| ⑤ 就労支援プロジェクト | 事務局 |
| ⑥ 地域生活支援拠点プロジェクト | 事務局 |
| ⑦ 厚木市基幹相談支援センター事業・発達障がい児の
保護者に対するペアレントトレーニングの実施に関する報告 | 事務局 |

～質疑応答

厚木市自閉症児・者親の会

- ・居住支援プロジェクトについて「ひきこもり状態にある方への支援」に関する調査とあるが、調査票の作成は終わっているのか。江戸川区が令和2年度に実施した大規模な調査がありインターネットで内容や結果を見る事も出来る為、参考にして頂きたい。

事務局

- ・調査自体を開始しており6月末を目標に回収・集計を始め、まとめ次第結果についてはご報告させて頂く。今回の調査では地域に加え、外来医療を含めた市内の精神科医療機関に対しても協力をお願いさせて頂いている。

議長

- ・防災プロジェクトから提案があった「防災対策チェックリスト」についてはこの内容で問題無ければご承認頂くということよろしいか。

厚木市地域包括ケア推進課

- ・東日本大震災の支援として現地に派遣された経験があるのだが「非常持ち出し品」については入れ歯や眼鏡・補聴器等「寝る時に外す物」を加えて頂ければ良いと思う。これらを忘れた事で避難生活に支障をきたしていた方が多かったと記憶している。

事務局

- ・ご意見を参考に、こちらでも検討させて頂く。

議長

- ・引き続き検討して頂くとして、今回についてはこの内容でご承認頂けたという事で進行させて頂きます。次に、日頃の福祉との関わりの中で何かご意見やご要望等を伺えればと思いますので、児童相談所さんから順番にお願いします。

厚木児童相談所

- ・療育の子育て支援プロジェクトでの「マイサポートブック」作成や、地域生活支援拠点プロジェクト会議への出席等で、今後とも協力させて頂きたい。

厚木市児童発達支援センターひよこ園

- ・今回初めて参加させて頂いた。協議会の内容や運営についてはまだまだ勉強不足で分からない事も多いが、今後とも宜しくお願いします。

厚愛訪問看護ステーション連絡会

- ・一貫した療育・子育て支援プロジェクトに参加させて頂いておりますので、医療的ケアの必要な子供達や、訪問看護を利用しているお母さん達の声を会議の場に届けていきたい。防災対策については当協会でも BCP を作成していく方向性で話し合いを持っており「防災対策チェックリスト」が訪問看護を利用されている方々にも届けられる様にしていきたいと考えている。

(7) その他

厚木市自閉症児・者親の会

- ・毎年要望書を提出しているのだが、昨年は危機管理課に対する防災訓練や避難所に関する要望の中に「二次元コードを活用したシステムを導入し、避難所等での名簿記入を廃止してはどうか」と提案させて頂いた。感染症対策や手続きの簡略化・要配慮者の把握や支援の効率化につながると考えているのだが、市からの回答としては「費用も掛かる事から、今年度はシステムの導入までには至らない」という内容でした。システムの導入費用がいくらになるのかは分からないが、災害はいつどこで起きるのか分からない事なので、避難所での手続きは簡単になった方が混乱も少ないと考えているので今後も要望を続けていきたい。

事務局

- ・二次元コードを活用したシステム導入の費用については、防災プロジェクトを通じて神奈川県工科大学と連携しているため、その中で相談・確認出来ればと考えている。

事務局

- ・令和5年度の障害者協議会について、実務者会議は今年度5回の開催となっており2回目の実務者会議は6月29日に開催される予定。
最後になるが「ゼロひやく訪問看護リハビリテーション」より親子教室の告知を頂いたので興味のある方がいればご案内して下さい。

3 閉会

～副議長 挨拶
～事務局 閉会挨拶

以上。